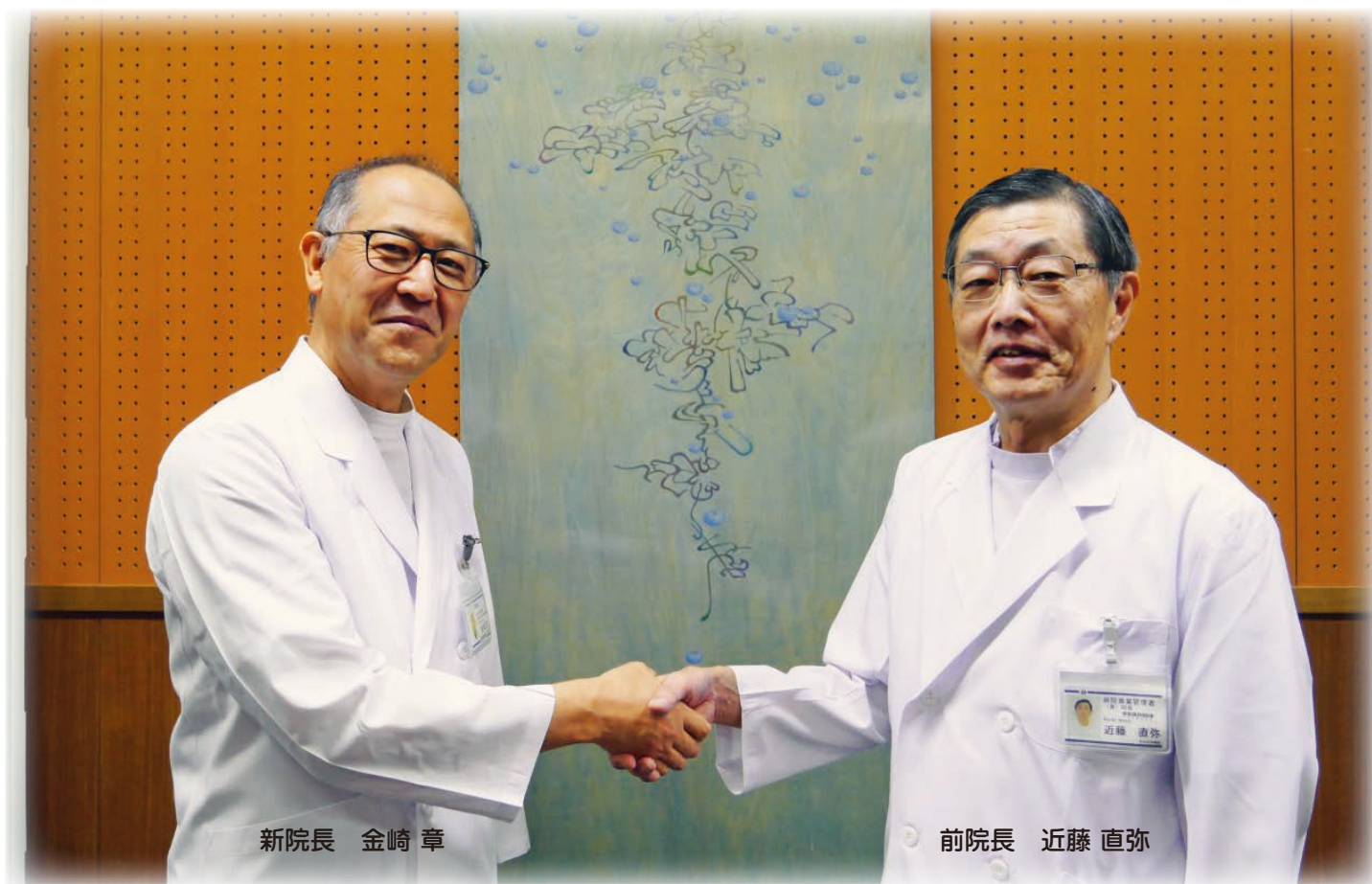


町田市民病院

vol.41
2019年 春号

クォーターリー



新院長 金崎 章

前院長 近藤 直弥

**2019年度
新体制で
スタートします!!**

トピックス

- 院長交代のお知らせ
- How to 救急受診
- 入退院支援センターの紹介
- 市民公開講座を開催しました
- 患者満足度アンケート結果

<http://machida-city-hospital-tokyo.jp/>



院長就任のごあいさつ

町田市民病院 院長 金崎 章



2019年4月1日付けで町田市民病院院長兼町田市病院事業管理者に就任した金崎章と申します。1988年から当院に勤務し、前院長の近藤先生が院長に就任された2009年4月から10年間、副院長の一人として勤めてまいりました。

当院は、町田市が町田町だった1943年（昭和18年）に、旧町田町、南村、鶴川村、忠生村の4か町村により開設された「南部共立病院」から始まりました。その後、市制施行による町田市の誕生とともに「町田市立中央病院」が誕生し、1975年（昭和50年）に現在の名称、「町田市民病院」に改称しました。平成に入ってから建て替えを行い、2000年（平成12年）には現在の東棟、2008年（平成20年）には南棟が完成し、1975年（昭和50年）当時208床だった病床数は、現在447床となりました。そんな歴史のある病院で院長を務めることの責任の重さに身の引き締まる思いです。

人口約43万人の町田市で唯一の公的病院である当院は、東京都の「二次救急医療機関」として手術や入院を必要とする重症患者を数多く受け入れ、「災害拠点病院」として災害時の後方医療施設に位置付けられ、「地域周産期母子医療センター」として都の周産期ネットワークと連携しながら出生前後に必要な医療を提供するなど、多様な役割を担う中核病院となっています。さらに昨年、近隣医療機関の方々のご協力により、東京都から「地域医療支援病院」の承認を受けることができました。

一方で、当院に求められる医療を安定的に提供し続けるためには、経営基盤の強化も欠かせません。団塊の世代が全員後期高齢者（75歳以上）となる2025年を控え、国は医療費削減のための改革を急ピッチで進めています。医療を取り巻く環境がより厳しさを増す中で、未だ半数以上の公立病院が赤字経営を続けており、当院も例外ではありません。時代の流れと共に変化する医療ニーズを敏感に捉えながら、経常収支を早期に黒字化できるよう経営改善に努めてまいります。

医療の質に関しては、外部の機関や委員から客観的な評価を受け、改善の糸口をご教示いただいております。5年に一度、（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審し、直近では2018年に認定を更新しました。また、年に2回、町田市病院事業運営評価委員会を開催し、市民や有識者で構成される委員の方々に『町田市民病院 中期経営計画（2017年度～2021年度）』の進捗状況を報告し、主に医療の質の向上の面からご意見をいただいております。

これからも当院の基本理念である「地域から必要とされ、信頼、満足される病院」をさらに追求し、地域のみなさんが安心して必要な医療を受けられる環境を、地域の医療機関や救急隊（消防署）、関連する施設の方々と協力しながら病院スタッフ一丸となり整えていきたいと思っております。これからもご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



院長退任のごあいさつ

町田市民病院 前院長 近藤 直 弥



2019年3月末で町田市民病院院長および町田市病院事業管理者を辞することになりました。1992年（平成4年）から当院に勤務し、副院長を経て、2009年4月からの10年間、院長として務めてまいりました。至らない点もあったかと思いますが、近隣医療機関の方々のご支援、市民のみなさんや患者さんのご理解、医師をはじめとした病院職員の協力により、これまで務めることができました。この場を借りて、みなさまにお礼を申し上げます。

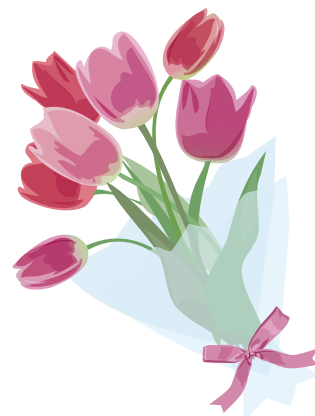
この26年の間には、社会や地域の情勢変化とともに、病院の増改築や病床の再編、診療科の増設等により、病院の規模や機能も大きく変わりました。そして、院長に就任した2009年度からは、地方公営企業法の全部適用、東日本大震災後の停電への対応、病院機能評価の更新認定、日本DMAT（災害派遣医療チーム）指定病院の登録、電子カルテシステムの更改、自家発電設備の更新、地域医療支援病院の承認等、様々なことがありましたが、病院の職員が一丸となって乗り切ってきました。

<近藤直弥 前院長の略歴>

- 1978年 東京慈恵会医科大学医学部を卒業
- 1992年 町田市民病院 泌尿器科医長として着任
- 1998年 町田市民病院 泌尿器科部長に就任
- 2003年 町田市民病院 副院長に就任
- 2009年 町田市民病院 院長に就任
- 2012年 町田市民病院 町田市病院事業管理者に就任

私の後任の院長（兼病院事業管理者）には、これまで副院長として私を支え、ともに病院をけん引してきた金崎 章 内科部長が就任いたします。金崎副院長は町田市医師会の理事を務めた経験があり、また当院でも地域連携を担当しておりました。地域医療支援病院となった当院と地域の医療機関との連携体制をさらに強化し、発展させてくれることと私は期待しています。また、新院長を支える副院長は、これまでも副院長として病院を支えてくれた櫻本 千恵子 副院長（兼麻酔科部長）、和泉 元喜 副院長（兼〈新〉内科部長）、古屋 優 副院長（兼脳神経外科部長）が引き続き務めることとなりました。時代の変化とともに病院にも変化・成長が求められますが、彼らになら、病院の運営を安心して任せることができると思い、退任を決意しました。

最後になりましたが、市民のみなさんのご健勝を、心よりお祈り申し上げます。新体制となった町田市民病院を、今後もよろしく願いいたします。



How to 救急受診 救急医療のTips

図1

「突然症状が出たら、あるいは様子を見ていた症状が悪化したらどうしたらいいのか？」

「この症状が続いたらどうになってしまうのか？」

「手遅れにならないか？」

この“わからない”から不安が続々と生まれてきて、「救急受診しなければ！」とってしまうことがあるでしょう。こうなると次は、「自分で病院やクリニックを探して受診するのか、救急車を呼ぶべきか？」という判断が必要になります。どのくらい時間に猶予があるのか、どこに受診すべきなのかを判断することは、なかなか難しいものです。何か目安となるものはないのでしょうか？

救急受診に迷ったら？

救急車を呼ぶべき症状については、消防庁監修の救急車利用リーフレットを参考に判断しましょう（図1、図2）。これらの症状の中には、脳梗塞や心筋梗塞などのすぐに治療すれば治る病気や、放置すると突然死に至るくも膜下出血、大動脈解離、消化管出血などの危険性が潜んでいます。

それでもなお、救急車を呼ぶべきか判断しきれない症状の場合は、電話での救急相談（小児の場合は小児救急でんわ相談#8000、大人の場合は救急相談センター#7119）を利用し、緊急性がある症状なのか、受診の必要がある症状なのかアドバイスを受け対応してください。

その他、インターネットを利用し、病気やけがの緊急度のチェックが行える、“救急受診ガイド”で判断する方法もあります。

救急車は限りのある重要な社会資源であることをご理解いただき、このようなサービスやツールを参考に、緊急性、重症度の高い患者さんを迅速に救急搬送できるように不要不急の救急車の利用を減らすようお願いいたします。

東京版 救急受診ガイド（東京消防庁）
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-kyuuumuka/guide/main/index.html>

こんなときにはすぐに119番!!

こども（15歳以下）

- 顔**
 - くちびるの色が紫色
 - 顔色が明らかに悪い
- 胸**
 - 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
 - 呼吸が弱い
- 手・足**
 - 手足が硬直している
- 頭**
 - 頭を痛がって、けいれんがある
 - 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある
- おなか**
 - 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく嘔吐がはっきりしない
 - 激しいおなかの痛みで苦しがる
 - 嘔吐が止まらない
 - 便に血がまじった

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかし（もうろうとしている）

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった

やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

図2

重大な病気やけがの可能性がります!

- 顔**
 - 顔半分が動きにくい、または、しびれる
 - ニッコリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
 - ろれつがまわりにくく、うまく話せない
 - 見える範囲が狭くなる
 - 突然、周りが二重に見える
 - 顔色が明らかに悪い
- おとな**
- 頭**
 - 突然の激しい頭痛
 - 突然の高熱
 - 支えなして立てないくらい急にふらつく
- 胸や背中**
 - 突然の激痛
 - 急な息切れ、呼吸困難
 - 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2〜3分続く
 - 痛み場所が移動する
- 手・足**
 - 突然のしびれ
 - 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる
- おなか**
 - 突然の激しい腹痛
 - 激しい腹痛が持続する
 - 血を吐く
 - 便に血が混ざるまたは、真っ黒い便が出る

意識の障害

- 意識がない（返事がない）またはおかし（もうろうとしている）
- ぐったりしている

吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

けが・やけど

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

事故

- 交通事故にあった（強い衝撃を受けた）
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

【総務省消防庁ホームページより引用】

救急車を呼ぶほどではないけれど…

ご自分の症状が救急車を利用するほどの緊急性、重症性はないとわかった場合、ご自身で受診いただくこととなります。“救急受診＝救急車の利用”ではないことをご理解ください。

平日の日中であればお近くの医療機関に受診ができますが、夜間・休日の場合、どのように医療機関を探せば良いのでしょうか？

町田市では夜間休日の診療を当番制で行っています。当番医療機関の確認は市の広報紙や町田市医師会ホームページに掲載されていますのでご確認ください。また、受診される前に必ず該当医療機関へお電話のうえ、これから受診できるか確認をしてから受診するようにお願いいたします。その理由としましては、該当医療機関に重傷症例が複数人搬送されている状態では診察が遅れることになるため、症状・状態により診療可能な他の医療機関への受診をお願いする場合があります。

町田市民病院の救急体制

当院は町田市内の2次救急（当番日は1次も）を担当しています。内科、外科、小児科、産婦人科救急は24時間、365日行っており、整形外科、歯科口腔外科、脳神経救急は日によってオンコール（緊急時呼出体制）での対応をとっています。基本的に夜間、休日は各科1名で救急対応をしており、この間も病棟の入院患者の診療を必要に応じ行っています。

2018年実績では月平均1,288人の救急患者（うち救急車利用482人）を受け入れています。しかし、救急受診患者が全て入院するわけではもちろんなく、入院を必要とする患者は302人（23.4%）となっています。

“入院を必要としない＝緊急性がない”わけではありませんが、やはり一定数は不要不急の受診をされる方もいらっしゃいます。

夜間・休日は、平日日中と比較して人的医療資源が少ない状況であることをご考慮いただき、前述のリーフレットなどを活用し、適切な救急受診をお心がけいただけますようお願いいたします。

入退院支援センターの紹介

入退院支援センターは患者さんに安心して入院していただくための支援を行う部門です。

患者さんが安心して療養できる環境を提供します

入院予約の際に、看護師やクラーク（診療事務）が病歴などの情報をお伺いしながら、入院に関するさまざまなオリエンテーションを行っています。

入院前から患者さんと面談することにより、一人一人の身体的・社会的な事情や精神的な不安に細やかに対応し、安心して治療を受けることができるように努めています。



入退院支援センター入口（1階）



入退院支援センタースタッフ

退院を見据えた支援をしています

入院後は、退院後の生活が円滑に行えるよう、退院調整看護師・医療ソーシャルワーカーが社会福祉サービスなどの情報を提供しています。

主な仕事内容

- 入院事前予約などの事務手続き（保険証・限度額認定証・入院歴・医療証などの確認）
- 入院予定患者さんの基本情報の把握およびオリエンテーション（入院説明）
- 食物アレルギーの聞き取りおよび院内での情報の共有
- 医療ソーシャルワーカーや退院調整看護師の早期介入による退院支援
- チーム医療の調整（褥瘡・認知症チームなど）

2018年度 第6回市民公開講座を開催しました

2019年1月19日開催

安心して手術を受けるために 知っておきたい麻酔のお話 ～手術における麻酔と麻酔科医の役割～



麻酔科医長
医師 近藤 祐介

麻酔は手術をするためには必要不可欠です。現在、当院では合計8つの手術室で年間約4,700件の手術が行われており、そのうち約3,000件は麻酔科が管理しています。手術室における麻酔科医の役割は、手術のための麻酔と全身管理です。外科系の医師が手術しやすいように、そして患者さんが苦痛を感じないように管理しており、いわば縁の下の力持ちです。

麻酔には大きく分けて全身麻酔と局所麻酔があります。全身麻酔は意識がなくなる深い麻酔で、呼吸も止まってしまいます。局所麻酔には脊髄くも膜下麻酔、神経ブロック、硬膜外麻酔などが含まれますが、いずれも効かせたい部位だけを麻酔する方法で特別な技術を必要とします。手術中はどんな麻酔方法でも麻酔の三要素（鎮痛、鎮静、筋弛緩）と全身管理（主に循環および呼吸の管理）が重要です。術者が手術に専念できるよう、血圧、尿量、体温、呼吸などを適切に維持します。

全身麻酔では気管挿管が必要です。これは肺に酸素と麻酔薬を送るためのチューブを喉頭鏡という器具を用いて気管内に挿入する行為です。合併症として吐き気・嘔吐、咽頭痛、声のかすれ（嚙声）、歯牙損傷などが起きてしまう可能性があります。脊髄くも膜下麻酔は下半身麻酔とも呼ばれ、下肢や陰部の手術や帝王切開で用います。3～5時間は下半身の感覚がなくなり、動かなくなります。神経ブロックと硬膜外麻酔は主に術後の鎮痛補助として全身麻酔や脊髄くも膜下麻酔と併用します。神経ブロックは主に上肢の手術、硬膜外麻

酔は胸部、腹部、下肢の手術に用います。局所麻酔で手術をする場合でも手術中は静脈麻酔で眠っていることができますのでご安心ください。

当院には術前外来があり、入院前に外来で落ち着いた雰囲気の中、麻酔の説明を受けることができます。現在、少しずつ外来の枠を増やしており、緊急手術以外のほぼすべての症例で術前外来に来ていただけることを目指しております。麻酔の説明以外にも高血圧、糖尿病などの術前合併症の評価、内服薬の調整、禁煙指導などもしています。また、当院には歯科口腔外科があり、手術を受ける患者さんの歯牙損傷予防、術後肺炎予防、在院期間短縮などを目的に、周術期の口腔ケアをしています。

また術後診察も全ての症例で実施しています。手術翌日に病棟に伺い、麻酔で何かトラブルはなかったか、鎮痛が十分かなどを評価しています。

我々麻酔科医は、患者さんとの短いお付き合いの中でもたくさんの情報を必要としています。ぜひご協力ください。

今後の市民公開講座について

市民公開講座の開催日や申込方法は、広報まちだや当院のホームページ、院内ポスター等でお知らせしています。みなさまぜひご参加ください。

新任医師紹介

新しく仲間になりました常勤医師をご紹介します。これからどうぞよろしくお願いたします。

- ①出身大学・卒年 ②趣味 ③メッセージ



皮膚科 担当医長
大塚 陽子
(おつか ようこ)

- ①浜松医科大学 2011年卒
- ②寺社参拝
- ③地域医療に貢献できるよう、頑張ります。

患者満足度調査 **アンケート** 結果

当院では、医療サービスに関して患者さんの評価や満足度を把握するため、入院・外来患者さんを対象にアンケート調査（設備・環境、食事、職員の対応、診療内容、待ち時間等）を毎年実施しています。

アンケートの結果は、表1のとおりとなりました。入院においては、「食事の内容」についての満足度が他の項目と比較してやや低い結果となりました。一方、外来においては、「待ち時間」についての満足度が昨年までと同様に低い結果となりました。受付から

診察までに要した時間をお聞きしたところ、1時間以内との回答が全体の約8割を占めている一方で、4時間以上かかったとの回答も数件寄せられました。

アンケート調査の実施にあたり、多くの患者さんやご家族にご協力いただき厚くお礼申し上げます。当院では、アンケート結果を参考に、院内の患者サービス委員会を中心に様々な業務改善に取り組んでいます。より質の高い医療を提供し、患者さんやご家族に満足いただけるよう今後も努めてまいります。

〈表1〉項目別アンケート結果

●入院

質問項目		満足度
施設	院内表示はわかりやすいですか	90.3
	医療機器等の設備は整っていますか	92.5
	トイレ・洗面給湯などの設備は清潔でしたか	93.8
	売店・自動販売機などの設備は整っていますか	88.0
	院内は整理整頓され清掃は行き届いていましたか	93.8
施設 合計		91.7
病室	病室は居心地が良いですか	90.9
	ベッド・寝具・ベッド回りの設備は整っていますか	91.9
	病室の温度や湿度、照明は快適ですか	85.4
病室 合計		89.4
食事	食事時間は定刻に配膳されますか	95.9
	食事の内容（味・量・盛付け）はいかがですか	79.9
食事 合計		88.0
接遇	医師の言葉使いや態度はいかがですか	95.0
	看護師・看護補助者の言葉使いや態度はいかがですか	96.0
	薬剤師の言葉使いや態度はいかがですか	97.8
	検査・放射線技師・臨床工学技士の言葉使いや態度はいかがですか	95.6
	リハビリスタッフの言葉使いや態度はいかがですか	95.1
	事務職員の言葉使いや態度はいかがですか	93.6
	プライバシーは守られていますか	91.7
接遇 合計		94.9
診療	医師による診療・治療の内容は満足ですか	93.4
	医師の病状や検査結果の説明はわかりやすいですか	92.7
	看護師の説明はわかりやすいですか	95.2
	看護師の介助の手際やケアの内容はいかがですか	95.4
	薬剤師の説明はわかりやすいですか	96.5
	患者誤認防止のための確認は十分ですか	97.1
診療 合計		95.0
入退院	入院決定後の準備説明は満足 of いく内容でしたか	92.0
	退院に向けての相談（費用や退院後の生活について）満足 of いくサポートを受けられましたか	91.0
入退院 合計		91.6
総合	総合的に満足 of いく診療が受けられましたか	89.8
	親戚や知人に市民病院の受診を薦めますか	88.3
総合 合計		88.9

満足度…回答結果を数値化（満足：100点、やや満足：75点、やや不満：50点、不満：25点）した値の平均。

【アンケート概要】（2018年6月実施）

入院アンケート 調査期間：7日間 回収枚数：332枚 外来アンケート 調査期間：2日間 回収枚数：597枚

※アンケートは無記名で設問（原則4段階評価）と自由意見で構成しました。

※昨年までは5段階評価（満足：100点、やや満足：80点、ふつう：60点、やや不満：40点、不満：20点）としていたため、昨年とは数値化の方法が異なります。

●外来

質問項目		満足度
施設	院内表示はわかりやすいですか	86.6
	医療機器等の設備は整っていますか	89.7
	トイレ・洗面給湯などの設備は清潔でしたか	91.1
	売店・自動販売機などの設備は整っていますか	88.3
	院内は整理整頓され清掃は行き届いていましたか	92.3
施設 合計		89.6
接遇	医師の言葉使いや態度はいかがですか	92.5
	看護師の言葉使いや態度はいかがですか	93.2
	薬剤師の言葉使いや態度はいかがですか	92.4
	検査・放射線技師・臨床工学技士の言葉使いや態度はいかがですか	92.4
	リハビリスタッフの言葉使いや態度はいかがですか	92.7
	事務職員の言葉使いや態度はいかがですか	89.4
プライバシーは守られていましたか	91.7	
接遇 合計		92.0
診療	医師による診療・治療内容は満足できましたか	89.9
	医師の病状や検査結果の説明はわかりやすかったですか	89.9
	看護師の説明はわかりやすかったですか	91.5
	看護師の介助の手際やケアの内容はいかがですか	90.7
診療 合計		90.5
説明	生理検査室の説明はわかりやすかったですか	89.9
	リハビリ室の説明はわかりやすかったですか	90.0
	レントゲン室の説明はわかりやすかったですか	90.6
	採血室の説明はわかりやすかったですか	93.6
	サポートセンターの説明はわかりやすかったですか	87.5
	外来処置室の説明はわかりやすかったですか	89.2
	栄養相談室の説明はわかりやすかったですか	87.0
CT・MRI室の説明はわかりやすかったですか	90.1	
説明 合計		90.4
待ち時間	診察までの待ち時間はいかがでしたか	70.5
	診察時間はいかがでしたか	83.4
	レントゲンの待ち時間はいかがでしたか	88.6
	採血・検査の待ち時間はいかがでしたか	86.0
	診察後、支払いまでの待ち時間はいかがでしたか	81.9
待ち時間 合計		81.1
総合	総合的に満足 of いく診療が受けられましたか	88.0
	親戚や知人に市民病院の受診を薦めますか	83.8
総合 合計		85.8

町田市病院事業運営評価委員会を開催しました

2018年度第2回町田市病院事業運営評価委員会を2018年11月21日(水)に開催し、中期経営計画の進捗状況や2018年度の決算見込について外部の委員に対して説明しました。

委員からは「以前よりも医療連携がかなり改善したと感じている。」「災害が発生した場合は、市民病院のみで全ての患者さんに対応することは不可能なため、近隣医療機関を含め皆で連携して対応する必要があ

る」等のご意見・ご提案をいただきました。

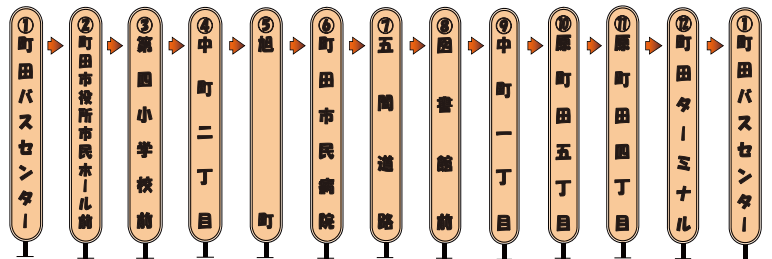
委員の皆さん

木藤一郎 (旭町二丁目リフレッシュクラブ会長)、
 渋谷明隆 (学校法人北里研究所理事・欠席)、根本
 勝 (公募委員)、林泉彦 (町田市医師会会長・代理
 出席：山下弘一副会長)、水町浩之 (経営コンサル
 タント)、山内芳 (税理士)

50音順・敬称略

町田市民バス「まちっこ」(公共施設巡回ルート)経路変更のお知らせ

町田市民病院の正面玄関前にも停車する「まちっこ」の経路が、2019年4月1日(月)から変更になります。時刻表を含めた最新情報は、町田市ホームページをご確認ください。



つくって元気!

楽笑レシピ

ビタミン、ミネラル、食物繊維で健康と美容を維持!!

菜の花の卵とじ



材料 (2人分)

◎菜の花	100g
◎生しいたけ	2枚
◎油揚げ	1/2枚
◎鶏ひき肉	50g
◎卵	2個

◎調味料：だし1/2カップ、砂糖大さじ1、しょうゆ大さじ1/2、酒大さじ1/2、塩小さじ1/6

1人分 171kcal・塩分1.4g
 町田市民病院 栄養科：野村

《作り方》

- ①菜の花は茹でて3cmの長さに切る。
- ②生しいたけは石づきを除いて薄切りにし、油揚げは油抜きをして短冊切りにする。
- ③フライパンに鶏ひき肉をいれ、水50mlを加え弱火にかける。肉の色が変わったら、しいたけを加えて炒め、油揚げを加える。
- ④調味料を加え、煮立ちかけたら菜の花を加え、再び煮立ったら溶き卵を流し入れ、ふたをして火を消し半熟状に仕上がったら完成!

ワンポイントアドバイス

- 菜の花の下処理
 さっと手早く水洗いし、根元のかたい部分を切り落とし、たっぷりの湯を沸騰させて、根元から色よく茹でます。
 ビタミンCなどの水に溶けやすい栄養素が含まれているので茹ですぎに注意しましょう。

